

ここで、一つ詩を読みたいと思います。

「ねえ、きみ」

ねえ、きみ、お母さんを知ってるかい。
きみが生まれたとき、病んだとき
眠らずじっとそばにいて
心を痛めていたのがお母さんだ。

ねえ、きみ、お父さんを知ってるかい。
夜中どんなに遅く帰っても
きみの寝顔をそっとみて
黙って床についたのがお父さんだ。

ねえ、きみ、友だちを知ってるかい。
平気でいつも楽しそうだけれど
誰もが一つ以上の悩みをかかえ
こらえながら頑張っているのが友だちだ。

ねえ、きみ、自分を知ってるかい。
たとえ勉強やスポーツが苦手でも
必ず二つ、三つは自慢できるものがある。
それに気づいていないのが自分なんだ。

ねえ、きみ、生きてるって知ってるかい。
きみの中にある、その自慢できるものを
どれでもいいから輝かせてごらん。
それがきみにとって生きることなんだ。

ねえ、きみ、生命って知ってるかい。
きみがもし死んだら、親も友だちも泣く。
かけがえのないタカラモノだから、
生きられるだけ生きてこそ生命なんだ。

ねえ、きみ、未来って知ってるかい。
どうなるかわからないこれからを
きみの知恵と力できりひらく
そのわくわくする冒険が未来なんだよ。

(坂本 光男)



「自他を大切にし、自分の良さを発揮する豊かな人間性と、未来を創造する生徒」
この目標に向かって神原中の全生徒が明るく、元気よく前進してほしいと思います。
以上今日のお話を終わります。